令和８年　建設業死亡災害発生状況

令和8年10月31日（暫定値）

静岡労働局

１．月別発生状況

月	建設業 8年 人数	建設業 8年 累計	建設業 7年 人数	建設業 7年 累計	建設業 増減	全産業 8年 人数	全産業 8年 累計	全産業 7年 人数	全産業 7年 累計	全産業 増減	建設業が全産業に占める割合
1	1	1			1	4	4	3	3	1	25.0
2		1	1	1		4	8	1	4	4	12.5
3	2	3	2	3		4	12	4	8	4	25.0
4	2	5	1	4	1	2	14	1	9	5	35.7
5	1	6		4	2	3	17	1	10	7	35.3
6		6	1	5	1	2	19	2	12	7	31.6
7		6		5	1		19	2	14	5	31.6
8		6		5	1	5	24		14	10	25.0
9	1	7	1	6	1	2	26	2	16	10	26.9
10	1	8		6	2	1	27		16	11	29.6
11				6				1	17		
12				6					17		

＊ 建設業・全産業の7年の件数・累計は、各月末日の件数
＊ 増減は、右上の現在の日における前年との差を表示している

２．事故の型･起因物別発生状況

型 / 起因物	転墜落	転倒	はさまれ巻き込まれ	倒崩壊	感電	交通事故	落飛下来	激突され	破爆裂発	その他	計	比率
仮設物建設物等	2			1							3	37.5
動力運搬						1					1	12.5
建設用機械等												
乗物												
ガス等有害物												
用具												
電気設備												
クレーン												
地山				1							1	12.5
荷												
その他			1	1			1				3	37.5
計	2		1	3		1	1				8	100.0
比	25.0		12.5	37.5		12.5	12.5				100.0	

３．工事の種類別発生状況

工事の種類		人数	比率
建築	鉄筋・鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ		
	木造建築工事	2	25.0
	その他の建築工事	1	12.5
	小計	3	37.5
土木	上下水道工事		
	道路建設工事	2	25.0
	その他の土木工事	1	12.5
	小計	3	37.5
その他の建設工		2	25.0
合計		8	100.0

４．発注者別･工事の種類別等発生状況

区分		工事の種類	人数		比率
発注者	国	土木工事	1	1	14.3
		建築工事			
		その他の工			
	県	土木工事	1	1	14.3
		建築工事			
		その他の工			
	市町	土木工事			
		建築工事			
		その他の工			
	独立行政法人、特殊会社等	土木工事			
		建築工事			
		その他の工			
	民間	土木工事		4	57.1
		建築工事	3		
		その他の工	1		
その他			1		14.3
計			7		100.0

＊「その他」は、発注とは関係しない業務における災害

５．現場規模による区分

規模	人数	比率
１～９	5	83.3
１０～１９	1	16.7
２０～２９		
３０～３９		
４０～４９		
５０～		
計	6	100.0

＊「４」の表の「その他」は、計上していない

６．年齢別による区分

年齢	人数	比率
２０歳未満		
２０～２９	2	25.0
３０～３９		
４０～４９	1	12.5
50歳未満計	3	37.5
５０～５９	2	25.0
６０歳以上	3	37.5
50歳以上計	5	62.5
計	8	100.0

７．署別発生状況

	三島	沼津	富士	静岡	島田	磐田	浜松	計
当年	2	1		4	1			8
前年	1	3			1		1	6
増減	1	-2		4			-1	2
昨年間	1	3			1		1	6

＊「前年」は「当年」と同時期、「昨年間」は前年１年間の状況